

施策28 社会性豊かな青少年の育成

作成日: 平成21年7月24日 主管課名: 教育委員会生涯学習課

施策名称	主管課	施策の対象	施策の対象指標	施策の意図	施策の成果指標	実績値(H17)	実績値(H18)	実績値(H19)	実績値(H20)	単位	目標値(H20)	目標値(H21)	目標値(H22)	取得方法	指標取得主管課・係	算定式・取得先等	施策の20年度目標達成度とその要因	施策の22年度目標達成に向けての課題
28 社会性豊かな青少年の育成	生涯学習課	青少年(主に中学生から20歳)	青少年(中学生から20歳)人口	社会性を身につけてもらう	青少年の補導件数	140	135	137	107	件	成 250 目 230	成 250 目 220	成 250 目 200	統計資料	保健福祉課	・大船渡市少年センターの統計資料	青少年の補導件数は、20年度目標値230件に対し107件であった。 青少年人口に対する補導件数の割合は、20年度目標値6.3%に対し3.6%であった。	総合発展計画の課題として ・児童・生徒を取り巻く有害な環境の改善 ・家庭、学校及び地域の連帯意識の向上  インターネット、携帯電話の普及による「出会い系サイト」等の危険性が問題視されているが、保護者の危機意識の欠如も要因の一つであり、児童生徒のみならず保護者への意識啓発に努めていく必要がある。
					青少年人口に対する補導件数の割合	4.3	4.1	4.1	3.6	%	成 7.0 目 6.3	成 7.0 目 6.1	成 7.0 目 5.6	業務取得	生涯学習課	・補導件数/青少年人口(13~20歳)(年度末)107件/2,947人	中学生はよく地域行事やボランティア活動に参加していると答えた市民の割合は、20年度目標値29.0%に対し31.4%であった。 高校生はよく地域行事やボランティア活動に参加していると答えた市民の割合は、20年度目標値13.0%に対し12.5%であった。 近年の実績値はほぼ目標値を達成している。当地域は歓楽街や遊技場等も少なく、また重大な犯罪等も発生しておらず、比較的安全な地域といわれている。	
					中学生はよく地域行事やボランティア活動に参加していると答えた市民の割合	29.8	29.5	28.4	31.4	%	成 26.0 目 29.0	成 26.0 目 30.0	成 26.0 目 30.0	市民アンケート	生涯学習課	・H20市民意識調査で取得(問14)あなたが日常生活をします上で、日頃、どのように感じていますか？中学生はよく地域行事やボランティア活動に参加している そう思う6.7% どちらかといえばそう思う24.7%		
					高校生はよく地域行事やボランティア活動に参加していると答えた市民の割合	11.8	9.8	10.8	12.5	%	成 10.0 目 13.0	成 10.0 目 14.0	成 10.0 目 15.0	市民アンケート	生涯学習課	・H20市民意識調査で取得(問14)あなたが日常生活をします上で、日頃、どのように感じていますか？高校生はよく地域行事やボランティア活動に参加している そう思う2.9% どちらかといえばそう思う9.6%	20年度方針では、予算の水準を抑制しながら施策成果の維持・向上を目指す施策として位置づけられている。施策事業費は全体で削減できたが、新規に放課後子どもプラン推進事業を開始したため総コストは増加した。	
<b>施策の振り返り(施策の20年度方針の達成状況)</b>																		

基本事業名称	主管課	基本事業の対象	基本事業の対象指標	基本事業の意図	基本事業の成果指標	実績値(H17)	実績値(H18)	実績値(H19)	実績値(H20)	単位	取得方法	指標取得主管課・係	算定式・取得先等	基本事業の成果水準とその背景	基本事業の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み(事務事業)の実績
1 青少年が健やかに育つ環境づくりの推進	生涯学習課	青少年(主に中学生から20歳) 保護者・学校・PTA 関係団体 地域住民	青少年(中学生から20歳)人口	悪影響を及ぼす環境が改善される 青少年の悩みが解消される	青少年の補導件数	140	135	137	107	件	統計資料	保健福祉課	・大船渡市少年センターの統計資料	青少年の補導件数は、16年度から17年度にかけて大きく減少し、17年度から19年度は、ほぼ横ばいとなっていたが、20年度には大きく減少した。 防犯パトロール(補導員による見回りや公用車への「防犯パトロール実施中」のステッカーの貼り付け)等の取組みを行っているが、都市化や情報化(インターネット、携帯電話の普及)による補導件数の増加が懸念される。	・放課後子どもプラン推進事業 運営委員会開催数2回  関連する事業として以下の取り組みを実施している。 ・青少年健全育成キャンペーンとして、年2回(7月・3月)市地域婦人団体連絡協議会との共催で、市の公用車による青少年健全育成広報活動を実施。 ・青少年健全育成環境パトロールとして、11月に、市青少年育成市民会議・市防犯協会連合会・市少年センターとの共催で、市内の書店、娯楽施設等を巡回し、青少年の健全育成にふさわしくない環境が無いパトロールを実施。 ・こころの教室相談員を8中学校に1名ずつ8名配置(週2~3日、1日4時間勤務) ・教育相談員を3名配置(10年度より旧図書館内に相談室を設置、市内小中学校を巡回)
2 青少年育成のための連携強化と意識啓発	生涯学習課	青少年(主に中学生から20歳) 保護者・学校・PTA 関係団体 地域住民	青少年(中学生から20歳)人口	社会のルールを身につけてもらう 社会や地域のことを考えるようになってもらう	中学校での家庭教育学級参加率(参加者数/中学生数)	46.9	47.6	59.8	61.6	%	業務取得	生涯学習課	・中央公民館にて把握(公民館の家庭教育学級事業の参加率)	中学校での家庭教育学級参加率は、61.6%で、前年度より増加し、近年増加傾向にある。 青少年地域活動の事業継続率は、100%であった。	主な事務事業は以下のとおり ・青少年問題協議会開催事業 青少年育成に関する事業報告と活動方針を審議、年1回開催 ・大船渡市少年センター運営事業 巡回補導日数319日 ・成人式開催事業 新成人数508人、成人式に出席した新成人の数391人、成人式出席率77.0%
					青少年地域活動の事業継続率(小中学生向け)	100.0	100.0	100.0	100.0	%	業務取得	生涯学習課	・青少年地域活動事業の対象地域を各年度指定しているが、各地域とも指定地域が外れても同様の事業を継続しているかを、毎年度続けて中央公民館にて把握	各種講演会の開催、あいさつ運動、子ども会活動など地域が主体となった活動の成果が現れてきているものと考えられる。	